

アリゾナ州立大学短期留学プログラム(ASU 短期留学プログラム)

＼＼ 参加学生の声：2019 年度参加学生から一部抜粋 〃〃

このプログラムはサステナビリティ(持続可能性)をより形のあるものにして可能性が十分にあるので、「何か新しいことを知りたい」「サステナビリティって結局何なの?」と思っている方にはおすすめです。このプログラムには個人研究という課題があるので、アメリカに行ったらどういうことを知りたいか、研究したいのかをプログラムが始まる時までに考えましょう。先生方による手厚いサポートがあるので、わからないことがあれば、積極的に聞いてみましょう。



クラス内で積極的に英語を話せば話すほど、力が身についていくと感じました。特に生徒だけでなく、先生達と会話をすると、様々なことを教えてもらえるし、授業内容の質問だけでなくアリゾナでの生活についてもたくさん答えてくれるので良いと思います。



やっぱり vocabulary はとても必要でした。たくさん学んで行くのがいいと思います。また6週間を充実させるか無駄にするかは自分次第です。たくさん授業外の行事に参加したり、ASU でできた友達と出かけたりすると、英語もたくさん使えます。学業面を伸ばすにもとてもいいと思います。また、課題はなかなか多いですが、計画的に1つ1つ丁寧にこなすことをおすすめします。自分の力になるものばかりです。

南山の授業の中でも積極的に発言したり、質問したりする練習をして、ASU で実践できればより良い学習になると思った。語彙力はあるに越したことはないので、単語テストがあるクラスはちゃんとやるべき。現地の学生と交流する機会は自分からつかみにいかないから英語で交流したいなら自分から行動にうつすべき。



ASU での sustainability は知識というよりは、いかに社会をよくするかを考えるということに近いので、南山にいる時から、それについて考えるとともにいいアイデアが出てくると思います。